

9月の 園便い



「まんげつの
よるまでまじない」

2019 年 新潟青陵幼稚園 園長 加藤 由美子

お休み中に楽しい思い出をいっぱい作られたことと思います。ご家族との思い出の一つ一つが子どもたちの心を埋めつくして、生きる力となっていきますね。

さて、2学期が始まります。夏に拡散していた意識が、秋には収縮し、物事に深く取り組むことができるようになります。2学期も保護者の皆様のご協力をいただきまして子どもたちが主体的に学ぶことができるように、そして充実した活動ができるように配慮してまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

図書館に行った時、花子は1冊の絵本を持ってきて「この本、なんていう本？」と聞きました。母「あかたろうの123の345だって」というと、花子「面白い名前だね…」と言いながら「これ借りる」・・・家に帰るとすぐに「絵本読んで!」と言って、絵本タイムとなりました。母「家に帰った あかたろう、でもお母さんがいない・・・

『そうだおばあちゃんのところかもしれない』とあかたろうはおばあちゃんの家に電話をかけます。おばあちゃんの電話番号は、123の345」と読むと

花子は手をポンと打って「あ!そうか!!だからだ…」ここまで読んだら、本の題名の理由が分かってストンと腑に落ちたようです。子どもの疑問はそのままにしておいた方が、分かった時の喜びや感動があるようです。大人に教えてもらった時より、自分で分かった時の喜びがとて大きいことが花子の様子から分かりました。子どもの疑問は子ども自身が“解”を発見するまで取っておいてあげたいですね。

“絵本の題名の不思議が分かった” たったこれだけのことですが、「そうか!」と腑に落ちる経験は貴重でした。これはひよっとすると“アハ体験”かもしれません。ちなみにアハ体験は(マイソニッククラブホームページより)《今までわからなかったことが分かるようになった時「ああ、そうか!!」と緊張が解けて、同時に大きな喜びを感じる心の動きであり、このような感覚を体験することで、関係する脳の回路を強化することができる。わからなくてもじっくりと考え、ひらめきを育むことの大切さを楽しみながら学ぶことができる…》ということだそうです。これを読むかぎり、分からないことはいいことなのだと思います。むしろその方が頭がよく働くようです。子どもたちは、遊びの中でも、こういうアハ体験をたくさんしているのだと思います。そして、その体験は不思議を感じる心をさらに増やし、知りたいと思う心がどんどん育っていくのだろうと思います。大人は、教えてあげたいと思う気持ちを考え直さなければなりませんね。

9月の予定

日	曜	給食	降園時間	行 事
1	日	/	/	
2	月	×	11:30	第2学期始業式を行います。
3	火	○	2:00	本日から給食が始まります。
4	水	○	2:00	
5	木	○	2:00	
6	金	○	2:00	
7	土	/	/	令和2年度入園希望者の体験入園を行います。
8	日	/	/	
9	月	○	2:00	
10	火	○	2:00	
11	水	○	2:00	
12	木	○	2:00	
13	金	○	2:00	
14	土	/	/	第2土曜日
15	日	/	/	
16	月	/	/	敬老の日
17	火	○	2:00	
18	水	×	11:30	誕生会、9月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう。
19	木	○	2:00	
20	金	○	2:00	
21	土	/	/	令和2年度入園希望者の体験入園を行います。
22	日			なかよしカーニバルです。ご家族お揃いでおいで下さい。
23	月	/	/	秋分の日
24	火	/	/	振替休日です。星の子は行います。
25	水	○	2:00	
26	木	○	2:00	
27	金	○	2:00	
28	土	/	/	第4土曜日
29	日	/	/	
30	月	○	2:00	